

# ひなの杜通信

社会福祉法人 春の木会

特別養護老人ホームひなの杜  
ひなの杜通所介護センター  
ひなの杜居宅介護支援センター  
(電話：048-795-3711)  
岩槻区裏慈恩寺51-1

## 大皿盛りにする理由

ひなの杜では、4月から全ての食事を大皿盛りで配食し、ユニットで盛り付けをしております。ひなの杜はユニットケアの施設となります。その食事の提供に関しても、一人ひとりにあったスタイルをと考えております。法人の理念である「みんなちがって、みんないい」のためにどうすればいいのかを、常に考えていきたいと思っております。

今回は、リーダー達が、ユニットで盛り付けをする理由についての研修会がありました。その中の資料をご紹介します。かと思ひます。少しでも、ひなの杜の思いが皆様に伝わればと思ひますので、文字数が多くなってしまいましたが、お読みいただければと思ひます。

ひなの杜 施設長

「楽しく食べる」条件を考えてみましょう。どこで食べるのか、誰と一緒に食べるのか、どんな食器を使えばいいのか、盛り付け方はどうするか…。これらのうちどれ1つを見落としても、楽しく食べることは難しくなります。

そして、このうちの「盛り付ける」に関連する配膳が、ワーカー側の都合でおこなわれたのでは、まさに本末転倒となってしまっているわけですね。盛り付けは、入居者がいるところで、好みや量を聞きながら時間をかけてゆっくりにおこなうのが理想です。

日々の食事において一人当たりの食事量は、みんな違います。その際、全員分を均等に分ける必要はなく、「適量」とはまさに、体格・生活強度やその日の食欲等によって入居者一人ひとりが異なるはずである。その日の状態や、食欲に合わせて量を加減すれば良いし、残しそうなものを「食べなさい」と言わんばかりに盛り付ける必要はありません。

その人にとってどれくらいが適当かを考えて、取り分けることが大事でしょう。

しかし、家庭でのことを考えても、それほど1人ひとりの量に大きな違いはないと思ひます。「〇〇さんは、もともと少食だから、ご飯は少なめ」「〇〇さんは、今日はおやつをたくさん食べてお腹いっぱいだから、おかずを少なく」という程度の話になると思ひます。

また、高齢者の場合、自分で食べられないと思ひたときに、わざと箸をつけないことがあります。これは、「食べられなくて残したときに、捨てるのはもったいない」「箸をつけないければ、誰かが代わりに食べることができない」と思ひているからなんです。そうした気持ちを大事にするためにも、やはりその人が食べたい量を取り分けることが大切です。

リビングにおいて、入居者1人ひとりを前にして食事を取り分けるからこそ、こうしたことが可能なのであり、厨房での一斉配膳では、上記のような高齢者の気持ちを大事にすることは難しいといえるでしょう。

自宅で家族揃って食事をする場合を考えてみてください。ご飯を茶碗によそうとき、「ふっつう」とか「半分」とか、「いつもと同じ」「今日は大盛で」など、どのくらいの量を盛り付けるかを口にしてはいないでしょうか。つまり、盛り付ける人が食べる人のすぐ近くで、おなかの減り具合などを気にしながらよそうことが多いと思ひます。

果たしてユニットで食事を盛り付けるとき、業務的にこなしているようなことはありませんか？せっかくユニットにいるにもかかわらず、入居者から見えないところで盛りつけたり、入居者を気にせず機械的によそったりしたのでは、何の意味もありません。

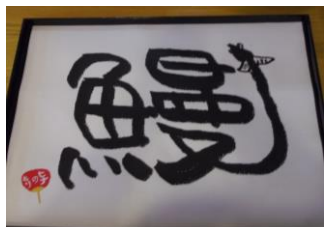
入居者がいるところで話をしながら配膳するところに意味があるのです。

そうしたなかで先におかずを食べてしまう人がいても、それをとがめる必要はないでしょう。盛り付け終わった方から順に食べていただいても一向に差し支えはないでしょう。

今までは、全員に一律に盛り付け、そこでの残食量を計っていました。しかし、上記のような対応をすると、個人個人の適量、つまり食べきれる量を盛り、そのうえでどのくらい残したかを計ることになります。残っていたら、そこには必ず理由があるはず…。残食量にも着目するようにしましょう。

# 土用の丑の日

7月29日は火曜であっても「土曜」（土用の丑の日）でした。もちろんこの日は、年に一度のうなぎの日です。今年も大きなうなぎに皆様大喜びされておりました。



# 外食会

ひなの杜では、年間60回以上の細かい行事がありますが、なかでも外食会が人気です。普段と違う表情がみられます。



# 稲作り（水やり）

時間が経つのは早いものです。もう立派に繁ってきておられます。先日植えた稲が、



# すずめの子

春に設置した巣箱には、残念ながら営巣は確認できませんでしたが、ひなの杜の周りには、確実の野鳥が増えました。

巣を作ったというのは、スズメだけですが、先日は落ちていた雛鳥を利用者様が見つけてくれて保護いたしました。とってもかわいらしかったのでご紹介いたします。



# 内部研修会（褥瘡）

今月の内部研修会は、褥瘡に関する実例報告もあり大変参考になるものでした。

